

□■受験対策ミニ講座 18号 2023□■ (養成所ニュースプラス 23号)

新しい年が始まりました。行動制限のない年末年始になりましたが、いつもと同じように勉強時間を確保できましたでしょうか。あと1か月間踏ん張りましょう。

新型コロナウイルスとインフルエンザの感染予防が呼びかけられています。手洗いや消毒、マスクの着用、三密は避ける、部屋の換気など今までどおりの対策を心がけましょう。

さて、受験対策ミニ講座では、本号から試験まで「Plus Column」で直前の準備についてお伝えしていきます。「Plus Quiz」は「心理学理論と心理的支援」からの出題です。選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかもあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【第32回問題11】前期高齢者(65~74歳)における認知機能や知的機能の一般的な特徴について、適切なものを1つ選びなさい。

1. 作動記憶の機能は、加齢による影響が顕著にみられる。
2. エピソード記憶の機能は、加齢による影響がほとんどみられない。
3. 意味記憶の機能は、加齢による影響が顕著にみられる。
4. 流動性知能は、加齢による影響がほとんどみられない。
5. 結晶性知能は、加齢による影響が顕著にみられる。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(33期生)住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(34期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・社会福祉振興・試験センターより、新型コロナウイルス感染症の感染防止、また不正行為防止対策について情報公開がありました。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?p=6417>

- ・令和4年12月9日に、第35回社会福祉士国家試験の受験票が投函(郵送)されました。

詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/index.html>

- ・第35回国家試験は、令和5年2月5日(日)です。

試験概要はこちら→<http://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>

- ・本養成所主催、「受験対策講座」はwebにて開催中です。

受験対策ガイダンス動画、オンデマンド動画(全19科目)の視聴が可能です。また、12月20日(火)より、国家試験直前対策講座(有料)の講義動画の視聴が開始となりました。是非ご活用ください。

受験対策講座ページへのアクセスはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=5529

※国家試験直前対策講座(有料)については、受講確定者に対してご案内(受講確定通知)を郵便及びメールにて順次送付しています。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

■Plus Column

【受験申し込み後の注意事項と試験当日の注意事項】

まずは、受験申し込み後の注意事項について2点をお伝えします。

(1) 「受験の手引」8ページには、受験申込受付期間終了後に発症した病気、不慮の事故、妊娠等のための受験上の配慮申請について、必要な場合は連絡をするようにとあります。該当する方は、不安なまま当日を迎えることがないようにご相談ください。

(2) 受験申し込み後に、「氏名」「現住所」「本籍地」を変更した場合（誤記入を含む）は、直ちに「受験申込書記載事項変更届」を提出するようにと、「受験の手引」10ページにあります。転居された方や直近で転居する方は特にご注意ください。

次に、昨年の「受験の手引」「試験当日の注意事項」（12ページ）との相違点を3点お伝えします。

(1) 持参物品に「鉛筆削り」と「置時計不可」が加筆されています。

(2) 試験会場開場・入室時間で、昨年よりも注意事項等の説明が5分前倒しになりました。このことで、入室時刻も午前9時15分までに必ず入室することになりました。

(3) 新型コロナウイルス感染症等への対応についてです。濃厚接触者に該当し、健康観察や外出自粛等が解除されていない方は受験できないと明記されました。この点については、メルマガ「Test Info」でもお伝えしているように、12月5日に試験センターからも通知されています。今のうちに確認してください。

同日、同様に「国家試験に係る不正行為防止対策について」も通知が出ています。大学共通テストでの不正事件をふまえた対策ということです。「受験の手引」以上の内容としては、試験開始前に、携帯電話等を監督者の指示で一斉に机に出し、電源が切れているかを確認するという手順が加わりました。今のうちに電源の入り切りを試しておきましょう。

次回からは、当日までの準備や当日の持ち物、注意点などを皆さんと確認していきます。

【Plus Quiz 正答と解説】

今回の問題は、高齢者の認知機能や知的機能について問われていますが、記憶や知能の種類を確実に理解していれば、推測できる問題でもあります。テキスト2「心理学理論と心理的支援」75ページにある、記憶の種類と加齢の影響をまとめた表がわかりやすいです。

試験では、記憶の種類やその例示が出題されています。心理学では、その側面ごとで記憶の仕組みやはたらきが異なるため、いくつかの側面に分けて研究が行われているといえます。例えば保持時間による分類には、感覚記憶、短期記憶、長期記憶があります。

短期記憶から長期記憶に転送されやすくするものにリハーサルがあります。何度も復唱したり、写真や図表全体を覚えることで忘れていた一部を思い出したり、解説にアンダーラインを引いてテキストの言葉を書き込んだりイラストを描いたりすることがこれにあたります。

記憶の過程を理解して勉強を進めると、なるほどと思うことがあります。記憶は、(1) 情報を入力する記銘（符号化）、(2) 記銘された情報を蓄え続ける保持（貯蔵）、(3) 保持された情報を検索して引き出す想起（検索）の3つの過程で表されます。この時期は、皆さんが理解してきた情報の貯蔵庫からアウトプット（想起）をたくさんして記憶に残し

ていきましょう。

1. ○作動記憶（ワーキングメモリー）は、暗算や逆唱等のように情報を一時的に保持して処理する記憶です。加齢による影響は顕著です。
2. ×エピソード記憶は、「いつ、だれが、どこで、なにをした」などという個人の経験した出来事に関する記憶で、その時の日時や場所の情報も含まれます。加齢による影響は顕著です。
3. ×意味記憶は、事物の意味や概念など知識としての記憶のことです。加齢による影響はほとんどありません。
4. ×流動性知能とは、情報処理と問題解決の基本能力で新しい環境に適応したり新しいことを学習するときに発揮されます。作動記憶（ワーキングメモリー）やエピソード記憶が関係しているといわれています。加齢による影響がみられません。
5. ×結晶性知能とは、これまでの人生の経験や知識に基づく判断力や問題解決力です。意味記憶や手続き記憶が関係しているといわれています。加齢による影響はあまりみられません。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus